

## 飯山市地方創生総合戦略会議 会議概要

1 会議名	令和元年度 飯山市地方創生総合戦略会議
2 日時	令和2年3月19日(木) 10時～11時40分
3 会場	市役所4階 全員協議会室
4 委員出席者 (順不同)	飯山商工会議所青年部会長、飯山商工会議所事務局長、 ながの農業協同組合みゆき地区担当副組合長、飯山市農業委員会委員、 信州いよいよ観光局営業担当理事、八十二銀行飯山支店長、 長野信用金庫飯山支店長、信州大学教育学部助教、県北信地域振興局長(代理出席)、飯山市区長会協議会長、飯山市若者会議会長、 飯山商工会議所女性会理事、飯山市男女共同参画推進委員会会長 庁内本部(市長、副市長、教育長、総務部長、民生部長、経済部長、 建設水道部長、教育部長(兼)文化振興部長、議会事務局長) ※欠席(休校のため):飯山高等学校生徒会長、飯山高等学校生徒会副会長
5 報道関係者	(株)北信濃新聞社、iネット飯山、北信ローカル
6 事務局出席者	企画財政課長、企画調整係長、企画調整係主査
<b>協 議 事 項 等</b>	
1 開 会	
2 市長あいさつ (足立市長)	<p>第1期の総合戦略計画期間の5年が終了する。国では地方に対し、切れ目のない取り組みとして第2期の計画を策定するようにと説明されている。</p> <p>市の第2期の計画では第1期の取組の総括と新たな視点を盛り込んでいきたいと考えている。</p> <p>この総合戦略は、国を始め、全国自治体で計画を策定し取組みをされているが、国全体としてみると第1期の総合戦略の明確な成果がなかなか現れていない。</p> <p>市では特に移住定住策としての住宅支援や若者支援として、保育料第三子無料化等の子育て支援を進めてきた。しかしながら、人口減少に歯止めはかかっていない。</p> <p>国の方針では、定住人口だけでなく関係人口を含めて地域が元気になるようにと提示があった。第1期の計画期間は3月31日だが、引き続き6月30日まで計画延長し、それまでに第2期の総合戦略計画を策定する予定である。</p> <p>策定においては、本日お集まりいただいた経済・教育等様々な分野の方に委員を引き受けていただいた。若い方にも計画策定に参画いただいたのでご意見をいただきたい。</p> <p>新幹線が5年前に開業しそのメリットを地域資源として活用していきたい。よろしくお願ひしたい。</p>
3 飯山市地方創生総合戦略会議について	
(1) 自己紹介(別添名簿)	
(2) 飯山市地方創生総合戦略会議設置要綱について	

(参考資料1「まち・ひと・しごと創生 長期ビジョン及び総合戦略の概要」)  
(説明 事務局)

#### 【副会長の選出】

要綱第5条に基づき、会長が副会長に八十二銀行 飯山支店長 安田様を指名した。委員全員の拍手をもって了承を得た。

#### 4 協議事項（進行：会長）

- (1) 平成27年度策定飯山市人口ビジョン及び人口推計について（資料1）  
(説明 事務局)
- (2) 第1期飯山市総合戦略の検証（資料2-1、2-2）  
(説明 事務局)
- (3) 第2期飯山市総合戦略について（資料3-1、3-2）  
(説明 事務局)

#### (会長)

補足説明をする。

第2期の総合戦略については、定住人口だけではなく、地域の活性化に寄与する関係人口も考慮したい考えである。そのため、まず定住人口のビジョンをどうするのかを考え、次に関係人口をどう捉えて、目標設定をどうするのか、というような内容を今回決めていくことになる。

その時にどういうことをやっていただく方を関係人口として捉えるのか、ということになるが、地域としての課題（経済や農業）に対して、定住人口はもとより（市外の）関係人口の方にも協力いただく。

市として、こういうことに課題があり、定住人口だけでは解決できない課題に対して、関係人口という新しい仕組みを作り地域を応援していただくものを委員の皆様からご意見をいただきたい。

4つの基本目標に関係するものもあるし、これに当てはまらないものは新たに設定してもいいと考えている。市として重要なものがあれば盛り込んでいきたい。それを具体的にどんな目標をもって取り組んでいくのか、数値目標（KPI）を定めてそれぞれの施策に取り組んでいく、ということ。

国では計画の中に盛り込んだ事業に対して地方創生の交付金として二分の一のお金を出す、ということ。我々としては二分の一では少ないと考えているが、地方創生の交付金だけでなく、市でも各種事業を活用して取り組んでいく。

したがって、今度の地方創生の第2期の5か年計画は、正に飯山市にとって地域活性化を図っていくための非常に重要な施策となる。それぞれの分野の皆さん方に色々なご意見を出して頂きたい。

今日は事務局の方で資料説明に時間を費やしたが、この資料は素案の素案であるので、中身についてはこの会議でご検討いただきたいのでよろしくお願ひしたい。

委員から意見をお願いしたい。

**(委員)**

いいやま雪まつりではここ5年程ボランティア学生団体150人程の協力を得ている。

夏にも50人程来ていただいております、これが関係人口なのかなとイメージした。

我々実行委員会のスタッフ数も少なく、学生ボランティアの取組は非常にありがたい。

これに頼り切るのではなく、こちらも体制を整えて、手伝っていただく仕組みを作っていきたいという思いで取組んでいる。

定住人口がしっかりした上で、プラスアルファで関係人口の考えであればいいと思う。

なお、資料において、数値目標の中でKPI「不妊治療の補助対象件数」が第2期の計画では廃止になっているが、その考えは。

**(民生部長)**

補助事業を止めるという意味ではない。事業としては今後もしっかりと実施していくが、補助対象件数を数値目標とすることは不妊に悩む人が何人いるか、というものがベースになってしまうため、その数を判断材料としてよいのかという考えから次回計画では廃止する考えであり、施策としては続けていくもの。

**(会長)**

本日提案させていただいたKPIは確定ではない。第1期策定時は全国の自治体が忙しい中で策定した。いろいろなものをKPIとして盛り込んだが、そのKPIが本当に定住人口増に結びつくものなのか、直接関係ないものもあったのではないかと思います。

第2期についてはできるだけ、人口増対策、定住人口の増加等に結び付く施策をあげていければと考えている。どういうものを盛り込めば成果が出るのか、それぞれの委員さんのお立場でご意見を頂ければありがたい。

**(委員)**

起業支援だけでなく、既存商店街や企業等への支援もお願いしたい。

ITや健康分野が全国的伸びている。東京ではなく飯山でもできる業種への手厚い支援や、大きい企業誘致だけではなく、小さい製造業や技術を持った方を自然豊かなところへ来ていただき、ふるさと納税の返礼品に使えるようになればと考える。

**(委員)**

人口対策に関して、今回の新型コロナ関係で感じることは、農業農村地帯は食べるものに困らない強い地域であること、と感じているのでこの強みをPRしたらどうか。

また、女性部ではSDGsの取組も行っている。私の集落は30数件であるが中学生以下の子どもが約20人いて頑張っている。空き家が1件もない。(移住者を)受け入れる環境がある。参考にさせていただければと思う。

(委員)

農業委員会では遊休農地対策に取り組んでいる。貸したい、売りたい農地はあるが、受け皿がないのが一番の課題である。

高齢化により農業ができなくなる現状がある。柏尾区は140戸から120戸に減少し、若い世代は長野方面に勤め、家を作り、年寄りが（柏尾の）家を守っている。

移住者が農業をできる体制が大切である。飯山で何を作れば儲かり農業をやっているのかが大事である。

(委員)

観光産業は外的要因を一番受けやすい。今は耐えている状況。

市では4つの基本目標の中にある、飯山駅の乗車人数数値を目標にすることがふさわしいのかご検討いただきたい。

(委員)

課題は色々あると思うが、人口は飯山市だけでなく一番の課題であると考えます。

高齢化が進む中で、子育て・若者定住も当然だが、高齢者・シルバー層の定住・人口増、人口維持施策も必要ではないか。医療介護の充実や買い物の手厚い対応、定期便を走らせることも含めて考えるべき。

若者対策は全国各地で行っている。日本全体の人口が減少する中で人の取り合いとなってしまう。今いる人口を減らさない他、年代層を変えた施策という観点からも関係人口を含めて考えたい。

創業支援も継続しているが、創業者の特徴として甘い計画を立てられる方もいる。融資は一步間違えるとその人を不幸にしてしまう場合もある。創業者も継続できる対応を考える必要がある。住みやすいイコール事業の継続していける施策も必要である。

(委員)

総合戦略の策定に向け、教育機関として関わっていける部分や幅広い専門を持っている他の先生方の力をいただきながら提案していきたい。

KPIを決めるのは大変であるが、第1期の状況を踏まえ、協議していきながら総合戦略にふさわしい指標を決めていきたい。

持ち帰り、施策等を見させていただきたい。次回の会議ではいろいろ提案できればと思う。

(委員)

長野県の場合、総合戦略は5カ年計画と合わせて平成30年度から第2期が始まっている。今回、関係人口という話があったが、長野県においても「つながり人口」として、人口の取り合いではなく、つながっていただける方と定住されている方とのwin-winの関係がつかれないかということで、国の委託事業等を実施しながら取り組んでいる。そういった情報も提供していきたい。

また、長野県内においては、北信管内の地域における将来人口は低い推計であり、対策等も行う必要がある。より良い計画を立てていただきたい。

(委員)

自分自身が疑問を抱いていることであるが、市でも把握しているのか。最近は特にアパートの需要が増えてきている。区ではこのアパートに何名住んでいるといったことは、場合によってはお名前を聞き承知している部分もあるが、その人たちは住民登録をしているのかは不明である。時折、県民交通災害共済などの配りものがあるときに、住民登録があればその方の分はあるが、数的に足りないことがある。

については、市内のアパートの住民登録の状況を調べていただくと、入居率と差が出る。それは関係人口として捉えてよいのではないか。市内には4つの大型の生活物品を扱う店があり、これまで営業を続けてくださっているということは、住民登録をされている方以外の方たちも、消費者になっているので、営業されているのでは。まったくの推測であるがそう捉えることができる。まずは、アパートの実態を各区と協力して調べてみてはいかがか。一つの提案である。

(委員)

身近の商店街を見ると、後継ぎがなく、閉めてしまうところが多い。どうすればよいか考えていきたい。

(委員)

子育て支援に関わらせていただく者として意見を言わせていただくが、飯山市の子育て支援はきめが細かくて、生まれたときから保育所も待機児童はいなくて希望すれば入れるということは、住んでいる人たちや若い世代には心強い。しかしながら、人口増につながらない現状があるが、これは継続していく必要があると考える。

子育て世代のお母さん方の話を聞くと心強いと聞く。困ったことがあれば行政はすぐに相談に乗り解決してもらえる。そのようなところは他にはない。そういった意見はよく聞く。しかし、そのような喜んでいる世代も仕事の関係で市外へ離れていくことが多い。

「子育て支援にやさしいまち」は地道に続け、且つ、保育所の問題に関しては、ただ受け入れてくれるだけでなく、より質の高い保育を求めている。建物もそうだが、保育の内容の充実についても、もう一歩踏み出して考えていくことが必要であると考え。

また、地域の住民が「子育て広場」という形でやっているところが多い。こういった取り組みは、飯山市としてもPRしてはどうか。

(4) 今後の予定

(説明 事務局)

～4月10日 委員からの集約

5月中旬 飯山市地方創生総合戦略会議開催

(協議事項 (案) : 人口ビジョン将来展望、第 2 期総合戦略の方向性)

5 月中旬 議会報告

5 月中旬 市民パブリックコメント (6 月中旬まで)

6 月中旬 飯山市地方創生総合戦略会議開催

(協議事項 (案) : 第 2 期総合戦略 (案) について)

6 月中旬 議会報告

6 月下旬 策定

**(委員)**

関係人口の捉え方や指標の見直しを考えると、策定までのスケジュールがタイトであると感じる。今後の委員からの意見集約などの作業についてプランはあるか。

**(会長)**

6 月末までの策定というスケジュールは、このまま目指したい。

また、スケジュールの中に委員からの意見集約があるが、委員全員からそれぞれの立場で意見をいただきたい。定住人口・関係人口について、こういった施策を盛り込んで、こういう KPI で計画に盛り込む、ということを意見として出していきたい。

ついては、委員からの意見集約期間については、4 月 20 日まで延ばし、多くの意見をいただくこととする。

**(委員)**

関係人口の計算の仕方などはあるのか。それが決まらないと KPI が定まらないのでは。

**(会長)**

関係人口の捉え方は、各自治体の創意工夫である。国の考え方と相違があっても、飯山市として必要なものを考えればよいと考える。

(5) 意見交換

※協議事項 (3) で実施

(6) その他

※特になし

**5 その他**

※特になし

**6 閉 会**